令和２年度　第４回理事会議事録

開催日時：令和2年8月７日（金）13:00～15:00

開催場所：山口県総合保健会館　第3研修室

出席者（理事）：三輪光良　大平知之　小池正紘　峯重正紀　河村裕介

齋藤茂治　佐野裕一　山本公志　河野奈央子　礒部雅史　渡邊征二

伊藤尚一 德永昌久　岡功一朗　山野井健　池田亮　高辻誠一郎

内海英人　丹羽英彰

出席者（監事）：小田真一郎　新町浩太郎

オブザーバー（事務職員）：楠本しのぶ

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長　三輪光良が議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として内海英人理事、議事録署名人として岡功一朗理事、池田　亮理事を選出した後、次の議案を付議した。

**【検討事項】**

**１、連絡協議会について**

　理事会の後の山口県健康福祉部との連絡協議会について、

　１、医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について

　２、診療放射線技師の養成学校設置に関する情報提供のお願い

　３、今年度の病院立入検査について

　４、診療放射線技師の在籍していない施設について

　５、医療法施行規則の一部改正について（水晶体の被曝低減）

　６、その他、部会活動の報告など

以上を山口県健康福祉部との連絡協議会に議案として挙げる。

**２、事業の再開について**

三輪会長

前回の理事会にてYART講習会、地域講習会、部会の勉強会開催の指針の決議をした。その中で中止の判断については、国や県からの自粛要請を１番、２番とし、３番目を会長判断とした。会としては事業を開催し取り組んでいかないと「会員の診療放射線学の研究やその知識の向上」という本会の目的につながらないので、何らかの形で進めていきたい。また、JARTから、講習会などをどう進めていくかの開催指針もメールで届いているので、後日確認してほしい。地域講習会は、今まで病院内で開催することが多かったと思うが、今の状況では病院内での開催は難しいと思うので、密が避けられる大きな会場を取って、開催してもらいたい。会場使用料については、河村理事から２~３万円は予算がつけられると聞いている。ZOOMの契約をしたので、Web開催についても考えていただき、何らかの形で開催し、少しずつでも前進して行きたいと考えている。

礒部理事

現時点で９月２７日に胃がん部会の講習会を予定している。バリウムメーカーからの講演も入れたいと思っていたが、県外から来るメーカーが何社かあるので、難しいと考え変更を重ねている。本日の理事会で開催の可否についての判断を考えていたが、会として開催可能ということでよろしいか。

三輪会長

開催に際して、席の感覚を十分に取る、トイレが混まないよう休憩時間を長く取るなど感染防止対策をしっかりしてもらいたい。

礒部理事

本来なら、JARTのポイント請求や講師の依頼状を出しておかないといけない時期だが、遅くなりながらも進めていきたい。

三輪会長

時間の短縮もかまわない。昼食をはさまない形でということや午後からのみの開催なども指針に示されている。

礒部理事

この後の県との連絡協議会で開催について話をしてもかまわないか。

三輪会長

してもかまわないが、開催するかしないかについては技師会で判断してほしい、ということになるだろう。胃がん部会は４回講習会を開催する。という契約で委託金をいただいているため、例えば２回しかできなかった場合契約上どうなるのかということを聞いてみたい。また、２回開催で委託金の半分を使うということにはならなくて、金額的に３回分くらいになってしまったということも考えられる。また、余った委託金は払い戻すということになるだろうが、そういうところも含めて聞いてみたい。

大平副会長

今年度の講習会経費が少なかったので、来年度の委託金の減額ということでは困る。

来年度も同額で契約できるのか、そこも聞いてみたい。

今回の講習会の場所についてはどこを予定しているのか。

礒部理事

セントコア山口で、８０人収容の会場で間隔を取って、４０人程度の参加を考えている

会場使用料については１時間単位なので、少し高くなると思っている。

河野理事

乳がん部会講習会は講師を県内の方で決めるのが難しい。状況を加味し可能であれば県外から招きたいと考えている。無理ならZOOM等を使ってということを考えた場合、会場は有線LANを使え、且つ、会場使用料も予算範囲内の所をあたっている。

大平副会長

ZOOMについては、無線と一緒になったものを契約しているので、有線LANは必ずしも必要ではない。

河野理事

公共の施設をあたってみたが、けっこう予約がつまっている状況で、ホテルでは使用料が高いという状況であった。防府アスピラートなら半年前からしか予約は取れないが、予算に見合った使用料である。３月１４日又は、３月２１日を開催日に考えていて、その半年前に予約を取るつもりである。

三輪会長

収容人数は何人か。

河野理事

７２人で、長机３６個を２人がけで使用するよう会場側から求められている。

三輪会長

会場側の方針に従い、また、人数制限があるため、事前登録とし参加人数を把握した状態で開催してもらいたい。

河野理事

防府市の規約で、参加者の住所、氏名を明らかににして提出しないといけない。

三輪会長

講師の全てか一部Webで話していただいて、それをみんなが視聴するという形を取るということでよろしいか。

河野理事

そのように考えている。

山本理事

JARTへのポイント申請は、基本的に１か月前だが、このような状況なので開催までにはお願いしたい。

河野理事

病院内で開催できる状況になり次第、すぐ対応できるよう１月いっぱいまでには、どこで開催するか考える。第一候補はアスピラートで考えている。

三輪会長

各地域の講習会に関して難しい面もあると思うが、予算も付けるので考えてもらいたい。

大平副会長

病院内での開催は、やはりだめだろうか。

三輪会長

会場使用料も予算につけるので、公共的な広い施設で開催してほしい。

大平副会長

秋季講習会について報告する。１１月１５日に山口県総合保健会館の第一研修室を取っている。講師の安藤先生はWebでの講演を予定している。あと予定している講師は山口市内在住の元YABプロデューサーであり、そういう方との接触はどうするかを考えている。メーカーに依頼した講師について先方は大丈夫だと言っているが、在住先不明の状況では、マスク着用のみの講演は疑問である。

三輪会長

講師は、前の入口から入って、なるべく参加者に接触しないようにしてもらえたら大丈夫ではないかと思う。

大平副会長

私も、離れていてマスクしているなら大丈夫かと思っている。

三輪会長

演題にアクリル板を置いてみてはどうか。また、そのような感染対策の備品には予算を付けるので各地域でも購入されていいと思う。JARTからの開催指針を見て、備品などの購入を考えてもらいたい。

小池副会長

飛沫感染防止についてであれば、講師は基本参加者から離れているので、、講師がマスクしていれば問題ないと思うので、改めてアクリル板などをしなくてもいいと思う。また、長く話されるので交換のマスクの用意をするといいと思う。

三輪会長

講師と参加者の距離を離すという演台のセッティングもお願いしたい。いろんな工夫を用い開催してほしい。

河野理事

乳がん講習会だが、実習形式での開催は難しいだろうか。

三輪会長

聴講という形で良いと思う。

河野理事

通常よりも時間が短くなってしまうが、よいだろうか。

三輪会長

それは仕方ないと思う。

**【報告事項】**

**１、学術奨励賞、学術功労賞及び山口県診療放射線技師会功労賞推薦のお願い**

齋藤理事

令和２年８月３１日までの実績を元に、学術奨励賞及び学術功労賞の推薦をお願いする。特に学術奨励賞に関しては、地域ごとによく確認してほしい。報告は９月３０日までとする。

山口県診療放射線技師会功労賞の推薦は、１２月までとする。

また、それぞれの賞の規定及び申請要項、申請書、業績書、調査書のファイルを近日中にメール添付にて理事に送る。

**２、来年度総会の進捗状況**

内海理事

令和３年度総会学術大会の進捗状況を報告する。開催日は令和３年５月１６日で会場はアクティブやないを予定している。県民公開講座は、前回の理事会の報告どおり、般若寺住職の福島弘昭さんに依頼している。宿泊ホテルについては、柳井グランドホテルを４０名で仮予約した。また、前日の懇親会についても柳井グランドホテルで考えている。懇親会の形式として、ホテル側から密にならないようにということで、立食形式より懐石形式という提案だった。

また、柳井グランドホテルには、宿泊予定人数のシングルの部屋数が足りないので、ある程度は相部屋になることを了承してもらいたい。

三輪会長

状況がどうなるか分からないが、このまま進めてもらいたい。

**【議案】**

**１、事業費の見直し**

河村理事

当会は山口県の管理下にあり、一般社団法人に移行する際、これまでの資産を10年間に渡って公益目的にて使い切らなければならないとされ、あと2年で達成することとなる。コロナ禍の状況であるけれども、事業をやっていかなければならない。

別紙資料を基に説明する。

　一番の支出は講習会だが、講師等の交通費などで多くの支出を割ることができないので、見直しをしている。定期講習会についてはオンライン講習会が妥当だと思っている。前回の理事会において、ZOOMとの契約を承認されたので、費用を付けている。それに関わる費用で定期講習会は、増額している。

　地域講習会については、今まで1地域1万~1万5千円以内で２回開催は２万~３万円ということであるが、これは講師料、交通費で使用、それとは別に会場費を設ける。上限額は３万円まで確保するので、きちんと感染対策ができている広い会場にて開催してもらいたいと思っている。また３万円以上かかる場合は会長決済としたいと思っている。今後この状況がどのくらい続くか分からないが、工夫しながら地域講習会を開催してほしい。

三輪会長

手指消毒用アルコールなどの備品の購入も必要である。

河村理事

感染対策の備品の購入等、各地域で工夫して開催してもらいたい。定例講習会において全額使えるか分からないが、臨機応変に対応していきたいと考えている。また、地域講習会においても、ZOOMでの開催はプリペイドSIMを用意して貸し出したいと思っている。多少オーバーする分にはかまわないので、なんとか開催して我々診療放射線技師の研鑚と向上をはかってもらいたいと思う。

　また、全国大会研修費については、大会がWeb開催となったが、金額が決まってないので、そのままの額にしている。

　鳥取での女性サミットは中止ということを聞いているが、完全に中止になったわけではないようなので、そのままの額にしている。

　Web講習会のインフラ構築費用については、ZOOM・１ライセンス100人というものがある。Webinar機能を付けていて、セミナー機能専用の100人までという機能を付けたもの、それと、Wi-Fiの環境がいるのではないかということで、安くて安定しているものを契約している。加えて、Webカメラとマイク付きも契約した。また、もう１ライセンス必要かと考えていて、プラス３万円を考えている。

　理事会交通費は、資料のようにしている。

　このような状況下、会員のために使っていこうと考えている。

三輪会長

地域講習会の備考の補足をお願いする。

河村理事

ZOOM等によるWeb開催の場合も同様とする。については、講師料と交通費で１万～１万５千円ということだが、ZOOMでの開催ということであれば、その中に通信費は含まないということである。

三輪会長

経費については必ず領収を取っておくようお願いする。いろんな形式で工夫して開催する方向で考えてほしい。今までのやり方だと会場を広く取って行う方法とZOOMを使った方法、また、全く集まれないということだと資料配布や回覧だけなど、いろんな開催方法が考えられると思う。再度、必ず領収を取っておくことをお願いする。

　事業費の見直しについて採決を行いたい。

採決を採る。

賛成　19人　　反対0人　　保留0人

議案１、事業費の見直しについて可決された。

**【その他】**

小池副会長

水晶体被ばくガイドラインについて、厚生労働省から被ばく低減の補助金の話しも出ている。ガイドラインと併せて確認してもらいたい。ガイドラインは、日本保健物理学会の方から2020年7月に眼の水晶体の線量モニタリングのガイドラインという名目で出ているので、これを参考に院内の対応を検討してもらいたいと思う。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第３４条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

一般社団法人山口県診療放射線技師会　令和２年度　第４回理事会

　　山口県診療放射線技師会　会長　三輪光良

　議事録署名人　理事　岡　功一朗

理事　池田　亮

監事　小田真一郎

監事　新町浩太郎